

5/18

五
月晴
れ！
スミ
ンシ
ザイ
四ガ
峰・
コジ
エテ
イ・
ナや
ナラ
ウ・
カエ
スも
歌
声を
響
き波
の
よ
うに
若
葉さ
ざ
波の
よ
うに
若
葉を
輝
か
せ
る・
森の
朝の
コ
ン
サ
ー
ト・
山で
一
た

～読書ノート～

・ 画家たちの原風景 堀尾真希子著

「日曜美術館」から聞いたもの 清流出版

著者はTV「日曜美術館」三代目の司会者。

心ゆきからでた6人の画家を追う旅。

神田日勝、長谷川潔、芥沢鉢介ら私もいたに

残る画家たちの生きた軌跡を著者と共に

「にどろくとて」作品により深く対話をこう。

3年前、十勝へ行ったとき、神田日勝記念館のすぐそ

ばはまで行ったのに、あの時は日勝を知らず

山仲間も一緒に訪ねなかつた。残念。

・ 愛と魂の美術館 立川昭二著 岩波書店

「養生訓」の立川さんか美術の本を? 図書館

で本か合図してくれた。古今東西の美術作品

54点の写真を見ながら、こんな視点があるの

だと、目を開かされた。エルメールの「牛乳を注ぐ女

歌磨「山姥と金太郎」、中宮寺「半跏思惟像」

など。よく見ること、背景を、作者を知ること、視点を変え

ることで、もっとと多くを語ってくれる。著者ならではの

哲學。現代社会、文化のあり方に警鐘を。

・ 読書見本帖 池内紀著 丸善UFJブック

本を書く人は「読む人」でもあるようだ。

著者はすぐれた本をたくさん書き、読む本も多い。

これは古今東西よりすぐりの文学作品の「読書

指南書」。ため息つきながらおもしろく読んだ。

カバや文庫、なつかしい、リンドバーグ夫人の

「海からの贈り物」。君いふ大切に読んだ。

熊本地震の余震は今も、雨の日や夜などトイレに不自由されいることでしょう。

海苔の吸物 佐賀から届いた香りのいい新取り。
手軽にのり吸いをたのしめます。

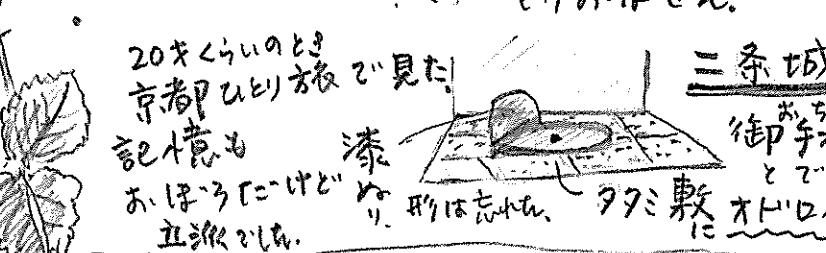
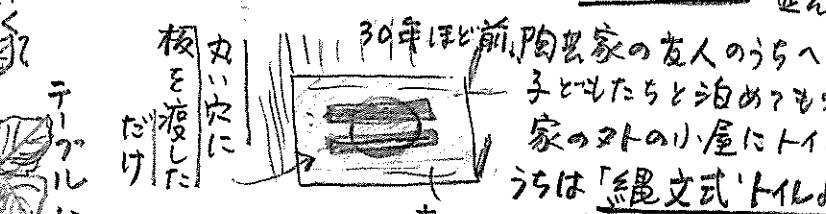
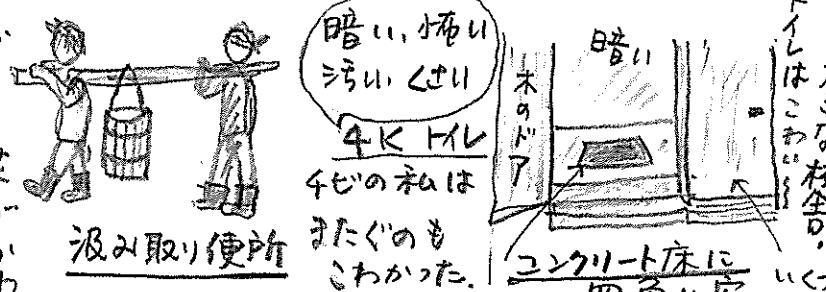
・ 吸い物味のたまに、とき卵、水とき片栗粉かしよせ
ろんわりかき卵汁をつくし、椀に注いでちまたに
のりをのせる。

・ かき卵のかわりに卵と1人1コ汁に入れ
半熟に、椀に入れてちまたのりをのせる。

・ 梗に、ちまたのり(多目に)、花かつお、梅干し
しょうゆ少々に湯を注ぐ。あつい間に一品。
おにぎり
ももちろん。 三つ葉などのせる
木の芽

トイレ・WC・便所・お手洗い・レストルーム

「ウォッシュレットが“ないといや」という人、多い。水洗トイレ
であるに“けでも恵まれると思うけれど”



おわび 5月号に書いた小林一茶の句、訂正します。「死仕度 致せ致せと桜かな」です。

けやき通信 2016. 5月
NO. 275

—錦織佳代子—

自由と平和のための京大有志の会

声明書（一部）

戦争は防衛を名目に始まる。

戦争は兵器産業に富をもたらす。

戦争は、すぐに制御か一歩かなく

なる。

生きる場所を考える自由を守り、

創るために私たちはまず、思ひ上からた

権力にくさいを打ちこまなくては

ならない。(婦人会友5月号より)

憲法記念日、第九条を胸にあげました。

フィンランド タペニの実家のサマーハウスのトイレ

トイレは森の方 サウナは湖の方

大きなカコに木牛4匹

ヘルシンキの自然博物館 使用後にヨリあく

便座が並んでおり臭いもない土に

フタを取るとクマ、ヘラジカ、オオカミ、キツネ、ウサギなど

動物たちのパンの見本か!! オモシロイ!!